

引渡しセレモニーの写真

今回、救急車1台をザンビア共和国のチョングウェ郡保健局へ寄贈し、現地でその引渡しセレモニーが行われました。車両は日本の自治体から譲渡頂き、その整備・輸送にかかる費用は、日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」(政府開発援助の一つ)による支援を受け、日本の人々の善意に支えられた国際協力となっています。

タンザニアのダル・エス・サラーム港を經由し陸路をタンザニア共和国の首都ルサカへ到着後、平成23年7月21日に引渡式が行われました。日本国側は、在ザンビア日本国大使館から江川明夫大使が、先方からは、クリストファー・カリラ保健大臣代理、ムワバ保健省事務次官、チョングウェ郡保健局長のチャールズムシスカ氏らが出席しました。

<p>1 はるばる日本から無事ザンビアに到着した救急車。 (保健省前にて)</p> <p>左側：埼玉西武広域事務組合消防本部の車輛</p> <p>右側：さいたま市消防本部の車輛</p>	 
--	--

<p>2</p>	<p>引渡式の様子。</p> <p>中央で談笑する江川明夫駐ザンビア日本国大使(左から3人目)、ザンビア共和国保健大臣代理のクリストファー・カリラ氏(同5人目)。</p>	
<p>3</p>	<p>スピーチする在ザンビア日本国大使の江川明夫氏(左)。</p>	
<p>4</p>	<p>江川大使(中央)より、贈られた救急車の鍵がチョングエ郡保健局長のムシスカ氏へ手渡されます。</p>	

<p>5</p>	<p>寄贈された救急車に乗り込み、車輛状態の良さに顔をほころばせるカリラ保健大臣代理。</p>	
<p>10</p>	<p>引渡式に先立ち、当協会の寺田事務局長（左から2人目）も現地を訪れ、救急車の到着を確認しました。</p> <p>車両が配属されるチョングウェ郡保健局の関係者たちとともに記念写真。</p>	